

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 9 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '暴力団排除対策事業' and '0603 時代に合った自治体運営'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes a detailed description of the project's purpose and implementation steps.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes a data table for '活動指標' (講習会参加回数, 暴力団等の不当要求件数, etc.) and '対象指標' (桜川市人口, 公共施設, etc.).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and personnel. Columns include 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), and 期間限定総投入量. Includes a sub-table for '事業費の内訳' (国庫支出金, 県支出金, etc.).

Table for '事業費の内訳' comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円). Includes a '合計' row at the bottom.

Table for '(4) 当該年度の実施内容' with columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	暴力団排除対策事業	事務事業No.	60302000746	所属課	総務課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川警察署からの依頼により、暴力団等反社会的勢力の資金源を断ち、暴力団を排除することを目的に事業を開始。公共施設の暴力団排除に関する条例の制定後、公共施設の使用に関する申込は一件もない状況である。桜川警察署より、暴力団排除条例の制定依頼を受け平成24年6月に条例制定。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? この事業を展開するには、警察署・関係機関との連携を更に密にし、組織あげて取り組む必要がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容  現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	反社会的勢力を排除することは、市民と行政による豊かな地域づくりに結びついているので、間接的には政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	行政対象暴力、民事介入暴力が多発傾向にあって、市民が安全で安心して暮らすことのできるセ策を行うことは市の責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	市民、市内全域の公共・公益施設を対象としているが、相談の事例はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	事業を廃止すると、暴力団等への資金源確保の恐れがあるので、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	被対象者が暴力団となっている事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最低限の人件費のみで、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民の安全と福祉の向上を図ることが目的であるので、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 条例制定後、暴力団等から公共施設の利用についての申請は提出されていないが、仮に申請があったならば、組織で対応し警察署と連携を図り対処しなければならない。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑧ コスト削減優先度評価結果 -

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---